

長野大学 企業情報学部 企業情報学科

インターネット放送局

～その問題点と解決策～

J08031 高橋明英

2012/01/31

終わりに

インターネット放送局の問題点は何であろうか。

筆者は冒頭に「インターネット放送局の可能性が十分に検討されていないこと」であると記述した。移動中継は確かに行われている事例も少なくはないが、筆者が視聴している中では画質・音質ともに満足できるレベルのものは少ない。また、インターネット放送局では収益を上げることを論じているものは少ない。インターネット放送局は個人で特別な資格は必要なく、しかも許認可もなしに、自由に個人がテレビジョン放送とほぼ同じ事を自由に行えるのである。テレビジョン放送が収益を得ることに成功しているのは明示である。それならば、同じことがインターネット放送局においても言えるであろう。

インターネット放送局の利点は最小限のコストで配信が出来るという点である。しかもインターネットを用いているので、「中央局」「地方局」といったような無意味なくくりは存在しない。大学の講義をインターネット放送局で取り扱えば、インターネットにさえ接続できれば遠隔地でもその大学の講義を受講することは可能である。

インターネット放送は未だ誕生してから日が浅い。それ故にその可能性は無限大に広がっている。その可能性のうち、ひとつの方向性を本論文を読了したものが見出していただければこれ以上の幸せはない。